

チャノキイロアザミウマ情報第1号

平成22年4月28日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除グループ

1 発生のピーク

JPP-NETを利用したチャノキイロアザミウマ第1世代成虫の発生ピーク予測日は、中山間部に位置する稲武を除いて5月19日から5月26日となりました(表1、図1)。本年は2月中旬から3月上旬にかけて気温が平年より高く推移したものの、3月下旬及び4月中旬以降低温で、チャノキイロアザミウマ第1世代成虫の発生ピーク時期は昨年より4~8日遅いと予想されます。

表1 JPP-NETを利用したチャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

| | 愛西 | 東海 | 南知多 | 名古屋 | 豊田 | 岡崎 | 蒲郡 | 豊橋 | 伊良湖 | 稲武 |
|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 第1世代 | 5/25 | 5/19 | 5/26 | 5/20 | 5/23 | 5/22 | 5/19 | 5/22 | 5/23 | 6/15 |
| 第2世代 | 6/20 | 6/16 | 6/23 | 6/16 | 6/20 | 6/19 | 6/22 | 6/19 | 6/24 | 7/14 |
| 第3世代 | 7/11 | 7/07 | 7/15 | 7/08 | 7/13 | 7/11 | 7/13 | 7/11 | 7/15 | 8/06 |
| 昨年の 第1世代 | 5/18 | 5/12 | 5/19 | 5/12 | 5/17 | 5/17 | 5/15 | 5/17 | 5/18 | 6/9 |

アメダス平均気温を利用しています。

各地の気温は4月25日までは実測値を、それ以降は平年値を入れて計算しています。

豊橋は、現在のアメダス地点の平年値がないため、アメダス移転前の平年値を用いています。



図1 第1世代成虫の発生ピーク予測日

(頭)

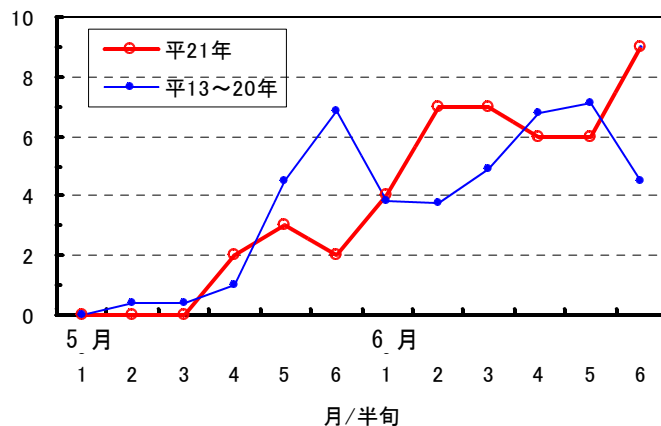


図2 粘着トラップによるチャノキイロアザミウマの成虫誘殺数(東浦町・ブドウ)

2 防除

ブドウでは例年5月上旬頃から成虫の飛来があり(図2)、5月下旬から6月上旬に幼虫の発生が見られます。カキでは開花期頃から成虫の飛来が多くなります。

チャノキイロアザミウマの防除は、初期発生を抑えることが特に重要です。成虫発生ピーク時の薬剤散布が最も防除効果が高いとされていますので、例年、発生の多いほ場では、表1及び図1から第1世代成虫の発生ピーク日を予測し、薬剤防除を実施しましょう(表2)。

表2 チャノキイロアザミウマの主な防除薬剤と使用基準

| 作物 | 薬剤名 | 希釈倍数 | 収穫前日数/使用回数 |
|-----|----------|-------------|------------|
| ブドウ | パダンSG水溶剤 | 1,500 | 21日/5回 |
| | アーデント水和剤 | 1,000 | 7日/4回 |
| カキ | アーデント水和剤 | 1,000 | 7日/3回 |
| | モスピラン水溶剤 | 2,000~4,000 | 7日/3回 |